

わがまち まごめ

馬込管内世帯人口数 (令和6年3月1日時点)	
・世帯数	31,246
・人口(男)	27,928
・人口(女)	28,957
・人口(計)	56,885

発行 地域力推進馬込地区委員会
事務局 馬込特別出張所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎(3774)3301(代)
ホームページアドレス(大田区役所大森地域)
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

馬込文士村大桜まつり

花もいっぱい 人もいっぱい

久しぶりの満開の桜と好天に恵まれて、第34回の馬込文士村大桜まつりが4月7日の日曜日に開催されました。そして会場の模擬店、中学生のダンス、開会式後の流し踊り、阿波踊り、俳句大会などのすべてが、コロナ禍以前のように実施されました。
春の暖かさにつつまれた桜並木通りは、どちらを見ても、人、人、人の波で埋まり、大盛況の一日となりました。



入選

馬込小四年 木村 花

ひとときを桜とともに過ごしけり

馬込小五年 吉田 陣

天の渦桜舞い散る大桜

馬込小五年 中尾 桜

はるになりみらいのじぶんまつている

馬込小五年 松原 湊

文士村さくらちらちらふってくる

馬込第二小五年 幸地 葵

雪だるま一人遠くをながめてる

馬込第三小五年 稲田 玲美

春になり桜の道がでてきたよ

梅田小一年 久馬 史織

しろいきあさの山みちかけぬける

梅田小三年 山口 悠月

しもやけがひりひりかゆくつらいよ

梅田小五年 佐藤 誓自

さくらさく時の流れがゆっくりだ

梅田小五年 文字 優衣

シャボン玉空のけしきを見ておいで

梅田小六年 川崎 日向子

あたたかい馬込の人もこの春も

梅田小六年 近藤 凛

衣替え小学生を脱ぎ捨てる

馬込中一年 吉嶋 江未里

桜陰別れの言葉かみ殺す

馬込中二年 泉 美莉愛

校長とハイタッチして卒業だ

貝塚中一年 坂本 美羽

まんかいの桜の下で卒業だ

貝塚中一年 石井 颯

正門で母との写真照れ臭い

貝塚中一年 竹林 健太郎

起床後の部屋の寒波はブリザード

馬込東中二年 江黒 由莉

短かすぎ冬のスカートJK無敵

馬込東中二年 デトラナ 夢和

お正月祖父と過ごす大事な日

馬込東中二年 柳下 そよ香

母の手にかかればご馳走節料理

立正中三年 三瓶 崇行

マスク越し表面上はいい関係

立正中三年 河原 杏奈

雪降れば時間忘れる雪遊び

立正中三年 福本 煌太

三年間楽しかったな卒業だ

立正中三年 河本 桜奈

春風の優しい風が恋しいよ

桜台高校一年 内藤 瑞貴

雪溶けてこつちを見る路の臺

桜台高校二年 山本 遙花

寝たくない寝ると始まる新しい一日

桜台高校二年 豊嶋 康斗

桜舞う晴天の空に腰かける

立正高校一年 上原 みなと

桜舞う過去の思い出乗せながら

立正高校一年 吉村 将佑

頭使う俳句大会桜まつり

立正高校一年 横山 瑠衣

桜咲く友と離れるクラス替え

立正高校一年 和田 佳穂

ふる桜つかもうとして空切る手

立正高校一年 石川 智美

さむいなか番号見つけて春がきた

立正高校一年 清水 隆寛

サンタさん大学生にはこなかった

立正高校二年 水戸 唯吹

霜柱足から伝わる冬の音

立正高校二年 内山 惟里

バレンタイン両手に紙袋もはや業者

立正高校二年 金井 奎澄

親戚が多くて嬉しいお年玉

立正高校二年 小柴 利音

春の風新しい日々とやってくる

立正高校二年 桑野 祐多

足袋履いて冷たい床に勇み立つ

立正高校二年 酒井 結衣

康成も眺めし桜我が目にも

立正高校二年 山本 遼太郎

色のない街を乗せたる春景色

馬込小四年 黄海 真緒

選評

日本の入学式にさくらあり

透明な光に包み込まれた入学式の朝。満開の桜。新しい服。うやうやしい気持ち。桜は数日の開花の後散ってゆきませんが、この桜の花と誇らしい気持ち。はいつまでも消えることはありません。私たちの人生のかわり目の明るい門出と結びついているからです。私たち誰もが持っている希望をこの作品は呼び起こしてくれれます。胸を張って、今校門をくぐる作者の息づかいが伝わってくる一句です。

選者 鈴木章和 俳句結社「翡翠」主宰
NHK学園俳句専任講師



令和六年度
馬込文士村大桜まつり
第十九回俳句大会入選作品

「一般の部」

特選 羽田四丁目 福島 秀也
ふるさは馬込の桜並木かな
実行委員長賞

目黒区大岡山 広田 輝子
人と桜とこんな近く文士村
馬込特別出張所長賞

南馬込四丁目 鈴木 伸彦
さわやかな馬込の桜ふぶきかな
入選 大森北四丁目 川嶋 君代
厨から煮える直会花まつり

南馬込六丁目 松浦 安紀子
菜の花や二度寝したのにまだ眠い
中馬込三丁目 鈴木 百合子
花の下わが子を探す踊りの輪

南馬込五丁目 藤井 すみれ
あしたからついにほじまるごねんせい
南馬込三丁目 青柳 裕
入学を祝う桜の並木道

北馬込二丁目 濱福 秀夫
ままごとや桜の花が赤飯に
中央四丁目 堀川 利枝
なにごともしなやかに桜満開に

大森北四丁目 山田 恵一
精一杯バンザイしてるよ老桜
中央四丁目 清水 治子
子と笑顔桜を仰ぐ車椅子

矢口二丁目 いぬい かのん
もうなったさくらのきせつうれい
中央五丁目 柳澤 佳里
ピロピロと舌を伸ばして桜食べ

南馬込四丁目 今井 香津子
さわめきの花見の中に子を送る
南馬込六丁目 松浦 安紀子
野球帽で花びらキャッチ三ひら目

品川区戸越 中村 晃子
手をつなぎ母をつれだす花の昼
西馬込一丁目 稲田 千賀
桜もち一口で食べる君が好き

西馬込一丁目 稲田 あきよ
よろこびを頬に咲かせる桜餅
大森北五丁目 山崎 利一
春がすみさくらの花がさきみだれ

南馬込四丁目 岡田 久男
「おいはぎ坂」の地蔵もけふは花衣
西馬込二丁目 百田 珠理
臨月や二人最後の桜

中馬込三丁目 古畑 正之助
花見してふくしゅうするよ九九かん字
選評

△特選▽ 羽田四丁目 福島 秀也
ふるさは馬込の桜並木かな
俳句はシンプルで艶のある言葉

がいい。文芸とはこういうものだったのだから、心気高揚してふっと浮かんだ一句です。

△実行委員長賞▽
目黒区大岡山 広田 輝子
人と桜とこんな近く文士村

ずっと先まで続く桜並木を見つめながら、毎日の生活があるんだなと考える作者です。普段は気づかないこの光景にも大切な今があることを実感しているのです。

△馬込特別出張所長賞▽
南馬込四丁目 鈴木 伸彦
さわやかな馬込の桜ふぶきかな

満開の桜はまだ一片も散ることなく、心地良い風が並木の下を流れています。透명한朝の光に包まれて歩く気持ちよさ、桜まつりの清々しい今朝の体験が生んだ鮮やかな作品です。

選者 鈴木章和 俳句結社「翡翠」主宰
NHK学園俳句専任講師

一枚の写真から
馬込少年野球大会



この写真を見てください。ある少年野球チームの集合写真です。しかしどこか現在の少年野球チームと違いますか。それはユニホーム、帽子、スパイクなど身につけている物がバラバラなのです。物資の無かった昭和23年の頃の写真です。

この頃流行した川柳の中に「六・三制野球ばかりがうまくなり」というのがありました。ほとんどの男の子は野球に夢中で広場とボールとバットがあれば必ず野球を始めたものです。

写真のチームは、「北野天神倶楽部」という名前です。北野神社近くに住んでいた野球好きの子どもたちで作ったチームです。

選手は小学4年生から中学3年生とバラバラですが、いったん練習やゲームが始まると上手な子がチームを引っ張って行きました。

その様な子たちを応援してくれたのが、近所の大人たちでした。当時子どもたちが一番欲しかったのが革製のグローブです。でも高価なもので買うことができません。

その代用品として少年雑誌の付録についていたグローブの型紙を使い、不要になった軍隊のマントや分厚い布で、布製のグローブを作ってくれました。

世の中が落ち着いてくると馬込にも少年野球チームがつぎつぎに誕生してきました。

組織ができ、大会の運営も計画的になりました。子どもたちの士気も盛り上がりました。

負けて悔しがる子、活躍して笑顔になる子、今も昔も変わりません。

この写真の裏面には次のような文字が残されています。

「昭和23年7月18日、馬込第二小学校にて「暮倶楽部主催少年野球大会」12チーム中北野天神倶楽部は第3位を獲得す。」

戦後の混乱期でも少しずつ平和を感じる一枚の写真です。

野球やろうぜ!

馬込にも来たよ!

昨年11月にアメリカ大リーグの大谷翔平選手から、日本の小学校2万校へ、ジュニア用野球グローブが1校あたり3つ贈られることがニュースになりました。



馬込の小学校4校(馬込小、馬込第二小、馬込第三小、梅田小)へも届いており、キャッチボールなどに使う予定だそうです。

馬込情報

●龍子記念館 (TEL 3772・0680)

●名作展 「大画面の奔流 川端龍子の『会場芸術』再考」

●展示期間…令和6年3月20日(水)～令和6年6月9日(日)

●名作展「いつか夢見た桃源郷 川端龍子の戦後の作品から」

●展示期間…令和6年6月22(土)～令和6年8月12日(月・祝)

●熊谷恒子記念館 (TEL 3773・0123)

●施設の延命化工事延長のため令和6年9月30日まで臨時休館

●馬込図書館 (TEL 3775・5401)

●馬込文士村展示 隔月で入替 (詳細は馬込図書館まで)

●馬込特別出張所長の異動
新所長として久保卓也さんが就任となりました。福祉部からの異動です。前所長の山本智彬さんは、こども家庭部に転出されました。



編集後記

今年も大桜まつりが盛大に催されました。コロナ収束後、やっとな春の賑わいが戻ってきたように感じられます。